



ご挨拶

なにか力が抜ける今日この頃です。3回目のワクチンの配布はとても遅し飲み薬の手配もまたおそし、先進国のなかでびりっけつです。もうすこしまじめに出来ないのでしょうか？国民はおとなしすぎます。みなさま、まじめな方々が、ひいひい言って大変な目にあってます。こんなコロナの時にIT関連の会社が10倍以上の収益だそうです。皆さんも、われわれ医療従事者もコロナを含めあらゆる感染症に気をつけねばなりません。自分でお互い守りあいましょう。

今月の言葉

悪業の数々が染み出るようにして、天日のもとにあからさまになってきました。隠されていた悪さの陰でどんなにつらいおもいをした人々がどれだけいるんでしょうか？余力がある限り、是非、手を差し伸べて、できるだけ助け合いましょう。

院長より

院長から

- 1・院長の良く言う「魔法の薬」麻酔科で救急や臨床薬理学を茅先生から学びました。墨東病院麻酔科のボス。後の順天堂大学麻酔科の教授です。
- 2・薬はなるべく少ないほうがよい、増えれば増えるほど、副作用が出現します。
- 3・膝がん発生について、あまり慢性膝炎の末期でなく早い時期におこるのかな？
- 4・一般に言われている慢性膝炎は自己免疫性膝炎も家族性膝炎もあるのですよ。
- 5・あきらかにコロナのせいですね。精神が、心が落ち着かなくなった方が増えてます。ご自分の病気に対しても不安がつり訴えが複雑になっています。
- 6・带状疱疹ヘルペス後神経痛の方々へのお薬 結構いい漢方薬が出てきました。
- 7・WEBをもちいて、あらゆる人間の持つ疾患群についての勉強をさせていただいてます。日常の診療に還元できればと思っています。
- 8・血圧のお話をもういちど、外来でその丹念にする必要があると感じています。本当は恐ろしい、静かなる殺人者であるのです。
- 9・初診の方が診察室に入られた時、私はみなさんのを全身を総合的にみています。
- 10・病気は決して一方的なものではなく、一緒に協力して双方の努力で、なおるものです。これにより患者さんの回復力が出てくるのです。
- 11・带状疱疹のかたが当院に来られるまでの期間がまだまだ長すぎますね。発症2日以内なら、ものの見事に治ります。





12・コロナ感染症に対し：当院では日常の診療の合間に COVID19 疑いのある方の PCR 検査をしていますので、1日数件しかできません。一般患者さんや当院スタッフへの感染予防もしっかり行わなければなりません。よろしくお願いいたします。

～ 1月、院長のWEB講演会や院内外活動です ～

07/WEB「日本人2型糖尿病患者さんの治療戦略」糖尿病内分泌科クリニック K・T先生

14/WEB「慢性心不全治療」「COPD 慢性閉塞性肺疾患診療の現状」「IPF 特発性肺繊維症の治療薬などについて」

名古屋大学循環器内科教授、杏林大学呼吸器内科教授

18/WEB「てんかん発作/目立つ発作と目立たない発作」東北大学神経外科先生

19/WEB「肥満2型糖尿病治療の進め方」

WEB「高尿酸血症・痛風治療のポイント」たちばなクリニック

20/WEB「コロナ禍における子どもたちのメンタルヘルス」千葉大学精神神経科

21/WEB「心不全の原因としてのアミロイドーシス」進行性かつ致死性である

WEB「高中性脂肪血症と心血管疾患」

WEB「除菌後胃がん発生、バレット食道癌、胃食道接合部癌」獨協大学消化器内科 先生、

25/WEB「見逃したくない自己免疫性水泡症」東京女子医科大学皮膚科先生

26/WEB「COPD 診療の現状」「抗線維化薬継続のための工夫」順天堂大学医学部付属浦安病院先生 と 杏林大学医学部教授

28/WEB「パーキンソン病診療の基本と医療連携」順天堂大学医学部付属順天堂医院 脳神経内科 先生、

30/WEB「糖尿病 市民公開講座/千葉県合併症(特に腎症)の実情・合併症のリスクと予防」千葉県健康福祉部健康づくり支援課 と先生方

・WEBまとめ、開業医の方の優秀な講演が目立ってきました。医師も差別化の時代になってきましたね。 院長

最近 YouTube を見ながら いろいろな
ストレッチ 等を SNS 発散しています。
みんな頑張り張って乗り越えまは〜う。



担当 森 でした。